

意見提出者	在日米国商工会議所 (The American Chamber of Commerce in Japan)
1. 項目	国境を越えたデータの流通促進
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	コンバージェンスとクラウド・コンピューティングを実現するためには、国境を越えたデータの自由な流通が欠かせない。GATT や二国間協定により、関税障壁が取り除かれ経済活動が活性化したように、データの流通に関しても国際的な枠組みの検討が必要である。
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	個人情報保護法、外国為替及び外国貿易法、金融商品取引法
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	「インターネット・エコノミーに関する日米対話」において、国境を越えたデータの流通促進を重要課題として取り上げると共に、海外のデータセンターから提供されるクラウドサービスと国内データセンターから提供されるクラウドサービスを差別なく取り扱うことを原則とすべきである。